

## 第583回 新潟放送番組審議会 議事録

審議番組

BSN 新潟放送創立 60 周年特別番組

「新潟遺産 ～技～」



平成 24 年 12 月 18 日

**BSN**新潟放送

## 第583回新潟放送番組審議会

1. 開催日時 平成24年12月18日(火)午後4:00～

2. 開催場所 ホテルイタリア軒 春日の間

### 3. 委員の出席

委員側出席者(敬称略・順不同)

委員長	松川公敏	副委員長	相羽利子
委員	渡辺隆	委員	高井盛雄
委員	正道かほる	委員	佐々木広介
委員	齋藤俊太郎	委員	小島良子
委員	行形貴子		

委員側欠席者(敬称略・順不同)

委員 古賀豊

新潟放送側出席者

社長	竹石松次	常務	熊倉雄三
常務	梅津雅之	編成局長	野島常雄
営業局長	島田好久	ラジオセンター長	小原弘志
説明員	報道制作局情報センター 南加乃子プロデューサー		

事務局

社長室長 佐藤隆夫(事務局長)  
考査広報部長 野上信子(事務局員)

### 4. 議題

・審議番組

BSN 新潟放送創立60周年特別番組

「新潟遺産 ～技～」

・放送日 12月5日(水) 19:00～19:55

### 5. 議事の概要

～番組審議委員の意見～

燕・三条の技が世界に認められていることにあらためて驚いた。

それぞれの技が美しい映像で紹介され、知っていそうで知らないことを知る良い機会であった。

ランキングなしでじっくり見ることが出来てよかったし、見ごたえのある内容であった。

長岡花火の職人さんたちは若い世代に受け継がれている。

花火を上げる技術が昔と今では全く違うことや、作る過程など良く分かった。

長岡花火が素晴らしかった。他の花火の違いなど比較すればいかに凄いかがもっとよくわかるのではないか。

村上木彫堆朱や越後上布の技をもっと丁寧に紹介すべきではないか。

将来新潟の遺産となりうる技が他にもたくさんある。そこにスポットを当てても良かったのではないか。

B S Nは古い映像が豊富にある。さらに60周年の特番制作で貴重な映像をたくさん撮ったと思う。1時間番組で紹介するには限りがあり、あれだけでは勿体ない。

今後もアーカイブを生かした深みのある番組を見せてほしい。

～南プロデューサーから～

貴重なご意見をいただきありがとうございました。

ゴールデンタイムに自社制作の機会が限られている中で、プレッシャーを感じながら制作した。

おかげさまで視聴率も良く、たくさんの方にご覧いただいた。

午後7時というじっくりテレビを見るような時間帯ではないので、途中から見ても内容がわかり、それをきっかけに最後までみていただけよう工夫した。

今回新潟遺産を企画する際に、番組を4本作るだけでなく、アーカイブにして遺すということと、今後の番組制作に生かすことを目的にした。

昔の資料で最も古い1958年（昭和33）に撮影した玉川堂さんの鎚起銅器を作るところや長岡花火の嘉瀬誠喜さんのお姿など、先輩に遺してもらった貴重な映像を使い番組に深みが出せたと思う。

今回も美しく貴重な映像をたくさん遺すことができたので今後は大事に使いたい。

委員のみなさまから遺すべき技が他にもまだまだあるという貴重なお話をいただいたので今後に生かしたい。